

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年7月1日
明治大学の所属学部・研究科	情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年6月8日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	タイ王国
留学先大学	シーナカリンウイロト大学(日本語名) มหาวิทยาลัยศรีนครินทรวิโรฒ(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	タイ語/タイ語
留学期間	2022年8月～2023年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):ソーシャルコミュニケーションイノベーション学部 (現地言語での名称):วิทยาลัยนวัตกรรมสื่อสารสังคม  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期:8 月上旬～12 月中旬      2 学期:1 月上旬～5 月上旬 3 学期:    ~                              4 学期:    ~
学生数	30,000 人前後
創立年	1949

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (タイバーツ)	日本円	備考
授業料	0	0円	協定留学のため無し
宿舍費	150,000	約 600,000円	スタジオタイプ月 15000 バーツ
食費	約 65,000	約 260,000円	外食多め
図書費		円	
学用品費	1050	約 4,200円	制服代
携帯・インターネット費	約 8,000	約 32,000円	Wifi 設置費用含む
現地交通費		円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	約 3000	約 12,000円	
医療費	0	0円	保険利用のため
保険費		118,150円	形態:大学指定の海外留学保険
渡航旅費		124,690円	
ビザ申請費		約 31,800円	申請費 9000円+延長費 1900 バーツ+Re-entry バーツ 3,800 バーツ
雑費	約 6,800	約 27,200円	電気代・水道代
その他		約 170,000円	旅行代(シンガポール・ベトナム(2回)・ラオス、国内)
その他		約 20,000円	美容代
合計		1,400,000円	

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:羽田空港 目的地:スワンブーム空港 経由地:	
復路 出発地:スワンブーム空港 目的地:羽田空港 経由地:	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:Bangkok Airways 料金:75,150円 復路 航空会社:Thai Airways 料金:12,385 バーツ(約 49,540円) ∴ 合計:124,690	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Expedia、タイ航空サイト)	
<input type="checkbox"/> その他( )	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

 学生寮(寮の名前: )  アパート  ホームステイ

2)部屋の形態

 個室  相部屋(同居人数 )

3)共有部分

 バス  トイレ  キッチン( 自炊可  自炊不可)

4)住居を探した方法:

留学先大学の事務室に住居リストを送ってもらい、気になった物件に内見に行っていただく。その写真を見て部屋を決定し、現地の不動産会社と直接やり取り。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

渡航前に比較的スムーズに部屋を決めましたが、入居後は問題がたくさん発生しました。入居直後の設備不良や、退去前後のやり取りが特に大変で、余計なストレスがかかったな、と感じています。私は英語を話すタイの不動産屋との契約でしたが、オーナー・不動産屋共に納得のいくものではなかったため、もし可能であれば日本人向けの不動産屋さんを使う方が良いかと思います。部屋自体は大学まで徒歩で数分、コンビニも近くに複数あり、2路線に近い便利な場所でした。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

 なし  
 あり(治療を受けた場所:サミティベート病院)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

 なし  
 あり(問題の内容や相談した人等:部屋の問題。友人に相談した)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

在タイ日本大使館から送られてくるメルや、SNS で目にした情報などをもとに、危なさそうな場所には基本的に近づかなかった。犯罪等には特に巻き込まれなかった。タクシーのぼったくりにはあいやすいので気を付けてはいたが、ほとんどなかった。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地の会社で携帯電話のSIM、Wifiともに契約した。Wifiは一年契約だったので、もしもテザリングなどで事足りるなら形態だけの方が良いかもしれない。接続自体は良好だった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

学籍番号が発行されると銀行口座が開設できたので、開設後は親から送金してもらった。また、現金を日本円、タイバーツともに持参していたので、両替することもあった。最初はクレジットカードも使った。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

基本的に、日本のものは金額が高くなることはあっても手に入るので気にしすぎなくて良いと思う。常備薬程度。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Thai and Asian Wlsdom	タイ・アジアの知恵
科目設置学部・研究科	College of Social Communication Innovation
履修期間	2022 年 8 月-12 月
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Pilan Poonyaprapha 教授
授業内容	タイを中心に、アジアの衣食住など文化について学ぶ。最初のうちは、「Wisdom」とは何か、など前提となる用語を学んだ。
試験・課題など	試験はなく、毎週のレポート課題と、数回のプレゼンテーションで成績が決まった。
感想を自由記入	所属した学部の教授にお勧めしていただいたため受講した。タイやアジアだけでなく、自国の文化を見つめ直すきっかけになった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Communication Skills for Media Production	メディア製作でのコミュニケーションスキル
科目設置学部・研究科	College of Social Communication Innovation
履修期間	2022 年 8 月-12 月
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Narisara Srichandraphan 教授
授業内容	プレゼンテーションのコツについて、メディア業界での仕事という視点から学ぶ。
試験・課題など	課題提出、2、3 回のプレゼンテーション、期末試験
感想を自由記入	プレゼンテーションの中身だけでなく、歩き方や立ち方などについて、実践も交えて学ぶことができた。講義スライドがタイ語で書かれていることもあったが、教授が優しかったので質問に行けば対応してくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Media Studies	メディア学
科目設置学部・研究科	College of Social Communication Innovation
履修期間	2022年8月-12月
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Micheal Balvay 教授
授業内容	広告や写真、プレゼンテーションなど静止画のデザイン方法などについて学ぶ。
試験・課題など	数回の小テスト、中間テスト、グループ課題
感想を自由記入	大教室での講義のような形式だったが、内容自体はとても興味深く、日本ではなかなか学べないことを学べたように思う。グループ課題にはフィードバックを貰え、ためになる授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Mass Communication and Digital Media	マスコミ・デジタルメディアの導入
科目設置学部・研究科	College of Social Communication Innovation
履修期間	2022年8月-12月
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Alissaya Tsoi 教授
授業内容	本からスマートフォンまで、メディアの歴史を学ぶ。
試験・課題など	グループワーク、数回の課題、中間・期末試験、エッセイ、プレゼンテーション
感想を自由記入	授業内容が多く、成績評価のための課題、試験ともに負担が重い授業だったが、教授は熱心で、内容自体も興味深かった。いくつかの教授の中から、お勧めしていただいて選んだが、正解だったと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Concept and Design Innovation	コンセプトとデザインイノベーション
科目設置学部・研究科	College of Social Communication Innovation
履修期間	2023年1月-5月
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Wanayos Boonperm 教授
授業内容	商品のコンセプトの決め方や、プレゼンテーションや画像のデザインについて学ぶ。
試験・課題など	数回のデザイン課題の提出、プレゼンテーション
感想を自由記入	教授が実際に SNS 上で有名なカフェなどのデザインを担当されていた方で、プレゼンテーションに対するフィードバックもちゃんといただけなので大変勉強になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Consumer Behavior	消費者行動論
科目設置学部・研究科	College of Social Communication Innovation
履修期間	23年1月-5月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	
授業内容	市場のニーズにあった商品のアイデアの生み出し方を学ぶ
試験・課題など	中間・期末レポート、グループワーク
感想を自由記入	マーケットの捉え方やターゲット層の選定方法についてかなり詳しく学ぶことができた。ほぼ毎週行われたグループワークや、課題に対して、しっかりとフィードバックされるのでより理解が深まった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Creative Citizen for Society		社会のための創造的な市民	
科目設置学部・研究科	Faculty of Economics		
履修期間	2023年1月-5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Suttipong Woraurai 教授		
授業内容	SDGsと絡めて、国家、そして地球の市民としてどう生きるべきか考える		
試験・課題など	グループワーク、プレゼンテーション、中間・期末試験(記述、選択式)		
感想を自由記入	なにかについて深く学ぶというよりは、週ごとに異なるテーマについて少しずつ学んでいく形だった。貧困や差別といったテーマから、政治参加についてなど、そのテーマも幅広かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Creative Economy and Cultural Capital		クリエイティブエコミ-と文化資本	
科目設置学部・研究科	Faculty of Fine Arts		
履修期間	2023年1月-5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Phitchakan Chuangchai 教授		
授業内容	クリエイティブエコミ-とは何か、その歴史などについて学ぶ		
試験・課題など	中間・期末試験(記述式)、グループプレゼンテーション(3回)		
感想を自由記入	クリエイティブエコミ-という言葉自体に馴染みがないため、その概念を理解することが難しかった。試験やプレゼンテーションなどの出来で成績が決まるため負担が重かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Communication Innovation	コミュニケーション革新
科目設置学部・研究科	College of Social Communciation Innovation
履修期間	2023年1月-5月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Chatchada A. Nagaoka 教授
授業内容	コミュニケーションツールの歴史について学ぶ
試験・課題など	数回の小課題、グループプレゼンテーション、中間・期末試験(選択式・記述式)
感想を自由記入	Introduction to Mass Communication and Digital Media で学んだ内容から、コミュニケーションツールの部分のみをさらに深く学ぶような授業だった。他の授業よりも、遅刻やクラス内のルールは厳しかったが、先生は優しくかった。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFL 受験 1 回目+その勉強
	8月～9月	オンライン留学
	10月～12月	TOEFL 受験 2 回目、留学出願・選考(大学間・学部間)
留学開始年	1月～3月	奨学金出願、健康診断書の発行
	4月～7月	語学学校通学、予防接種、ビザ取得、航空券予約、滞在先の確保
	8月～9月	留学開始、履修登録
	10月～12月	中間(10月)・期末(12月)試験、ゼミ試験(日本)
留学/帰国年	1月～3月	2学期開始(1月)、中間試験(3月)
	4月～7月	期末試験(5月)、帰国(6月)、帰国後書類提出
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

タイへの留学を決めた理由は、ジェンダーやセクシュアリティにまつわる問題に対して関心を持っていたから、そしてタイの政治について現地で考えたいと思ったからでした。その中で 1 年次の夏、タイのオンライン留学に参加した際に、シーナカリンウロト大学の学生と交流し、その英語力や日本への興味に驚かされ、彼らと共に勉強したいと考えるようになりました。学内には日本語学科や、明治大学の ASEAN センターがあり、困った時に日本語を使ってコミュニケーションがとれる可能性が高いのも留学先大学の決め手の 1 つでした。

学部は、興味があったメディアについて勉強できる College of Social Communication Innovation を選び、学科関係なく授業をとっていました。後半は他学部の科目も履修し、交友関係をさらに広げることができました。所属した学部がハイレベルプログラムなこともあり、授業のほとんどはタイ語と英語、両方を使った授業で、苦勞することもありましたが、きちんと授業を受ければ十分に理解でき、テストなどで困ることもありませんでした。会話の流れが理解できないときには、周りの学生に助けってもらっていました。また、大学、そして学部には、自分で事業を営んでいる生徒、芸能の仕事をしている生徒など、日本ではなかなか出会えないような人と知り合うことができ、刺激を受けました。タイ人は優しい、と話には聞いていましたが、実際友達だけでなく、生活をする中で出会う様々な人たちが優しく、人の温かさを感じることができた留学生活でした。

タイに留学をするとすると、一番悩むのは言語のことかもしれません。私は、大学の授業で 1 年半、語学学校で 3 か月ほどタイ語を学んでいきましたが、結果的にそれは正解だったと思います。バンコクには日本人も多く住んでいて、最低限の英語さえできれば生活することには困りません。しかし、友人間での会話ではタイ語が使われますし、ローカルなお店などはタイ語を使ったコミュニケーションになります。食事の注文やタクシーの道案内などができるレベルのタイ語は事前に勉強していった方が良いでしょう。ただ、周りの留学生にもタイ語を話せない子は多くいましたし、生活の中で特別困った様子もありませんでした。翻訳アプリなども使えるので、あまり気に病む必要はないと思います。